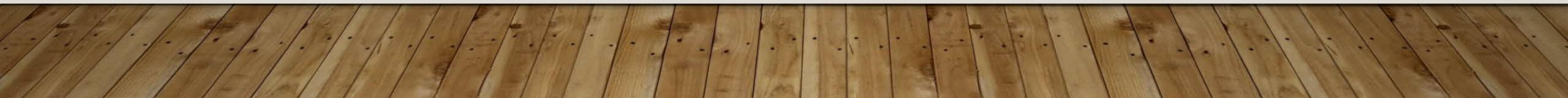


世代を超えた交流

コミュニケーション能力向上と意識の継承



松江SPEEDってなに？

人と人とのつながりや余暇を充実させ、多くの人と幸せを共有できる場所やモノを提供をすることを目指す団体。

ミニ四駆は、単に「組み上げる」「走らせ」「スピードを競う」だけではなく、その過程で様々な試行錯誤を必要とする一面、プラモデルのように「自分らしい1台」を組み上げる楽しさもある。「速さ」を競う面では、早いミニ四駆を作る為に「親子」で試行錯誤し、早いレーサーと世代を超えたコミュニケーションが必要。

この深く計算されたクリエイティブな遊びに注目し、学びの場としてコース設置や大会を主催。

2022年4月1日に設立。現在は約20名の会員が所属。



世代を超えた交流が必要な理由



一人でゲームを楽しむ時間が増え、SNSでの交流がメインな時代。文字だけのコミュニケーションでのトラブル増加。コミュ症などの症状。核家族化の共稼ぎによる孤独な子供。

親が子供に費やす時間の減少。部活参加者の減少。ネットで調べることが、当たり前前の社会。

**大人と子供のリアルな会話からの
コミュニケーション能力の学習が必要**

目的を持った遊びから



ゲームをする「目的」「目標」は、自分は「人より上手」「得意分野」を作る目的が多い。ゲームでは努力するのに「現実」では努力しない。

終着点（目的）を決める 道のり（方法）を模索
必要な情報（経験・書籍・ネット）を習得。

目的を提示
即効性のある達成感

**「遊び」「交流」「学び」
を
空き家利用に繋げる**

空き家が「空き家」な理由

- ・ 何に使っていいか解らない
- ・ 不便な場所にある
- ・ 古くて汚い
- ・ 誰が所有者か判らない
- ・ 壊すにもお金がかかる
- ・ 人に貸せない理由がある



空き家対策の一環としての遊び場

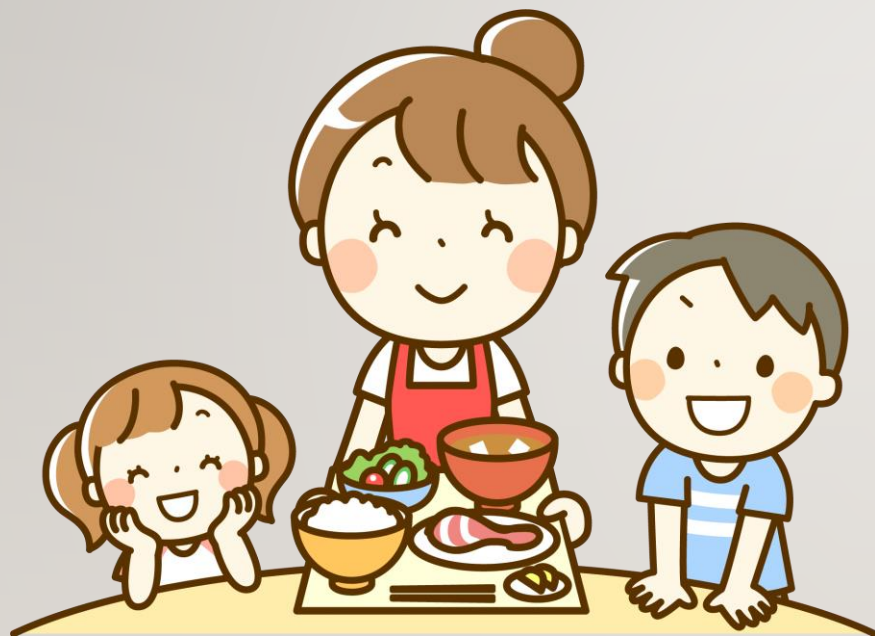


浜田にある地球堂模型

「遊び」に対しての情熱（執着）は目を見張るものがある。ただの遊びではなく

- ・何かを学べる遊び
- ・結果までが難しくなく簡単でもない
- ・「そこ」でしかできない
- ・「指導者」ではなく「一緒に」

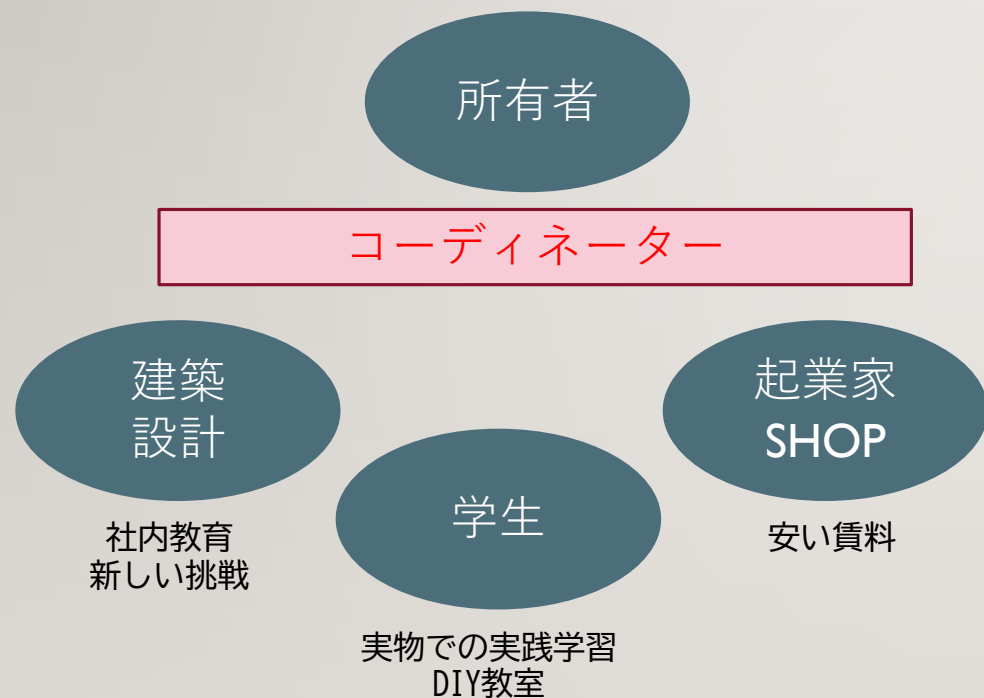
空き家対策の一環としての食堂



「食」から学ぶのは参加者全員

- 食材の有効活用（食品ロス軽減）
- 食材提供者への敬意
- 料理人への感謝
- ロスの少ない料理法
- 自宅での実践

空き家対策の一環としての学習道具



「学習道具」として活用

- 企業の社内教育教材
- 学生により超実践的授業
- 簡単なDIY教室や庭の管理教室
- 新規起業家への提供
- 週替わりのショップ経営

残された困りごと

- 誰が所有者か判らない
- 修繕費用の捻出
- 運用管理は誰が？
- 利用料金の管理（経営）
- 本当に対策が必要なのはどこ？
- フットワークの問題



空き家の活用 や 町興しは

誰の為に行うの？

